

# かとう治

声を現実に。



市政報告 令和4年冬号

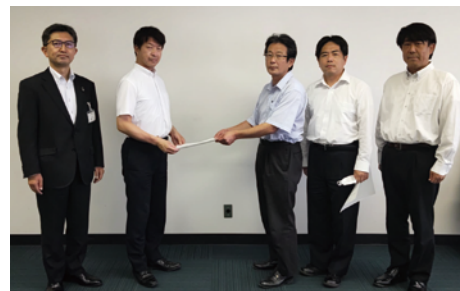
編集・発行：加藤 治  
発行日：令和4年11月

## 自由民主党 議員団として 伏見市長へ支援教育に関する要望を提出

本年8月4日、自由民主党議員団として市長および教育長に対し「今後の枚方市の支援教育についての要望」を提出しました。

文部科学省の通知を受けた市教育委員会の対応について、説明不足、強引な進め方であるなどの不満が多く寄せられています。こうした状況を踏まえ、障がいのある児童・生徒に対する急な環境変化を避け、行政上の施策転換等が生じた際にも時間をかけて子どもに合わせた対応を行うなど、丁寧で寄り添った対応を行うよう要望しました。

支援教育は誰もが生きやすい社会を目指すうえで重要であるものの、同時にナイブな問題も関わるため、引き続き行政と連携しながら丁寧に取り組んでまいります。



## かとう治の提案が市政に反映！ 「無電柱化」について枚方市内全域で検討へ



景観だけでなく、防災や交通環境など幅広く効果が期待される「無電柱化」は、かねてから我が党が推進してきた事業です。枚方市議会においては私が幾度となく議会に取り上げてきたところ、市長の市政運営方針に取り入れられ、枚方市内全域を対象に検討が行われる見通しに至りました。

これは災害時に倒壊した電柱が避難の障害や復旧の足かせになる事例も多いことから提案させていただいたものです。無電柱化の推進により防災能力の強化が図られ、市民の安全が守られるよう引き続き事業の早期進行を促してまいります。

## 会派名を「自由民主党議員団」に改めました

本年5月より会派名を「自由民主党議員団」に改めました（会派メンバーに変更はありません）。

党を代表する会派として恥じることのないよう今後とも正々堂々と取り組んでまいります。



## かとう治の活動記録 声を現実に

皆さまからお寄せいただいたお困りごとの解決やご要望の実現に向けて取り組んでいる活動の一部をご紹介します。



市民の方にご案内いただき道路環境の現地調査を実施し、解決に向けて議会でも取り上げました。



招提北中の昨年度PTA会長を務めた経験も活かして学校教育の充実に取り組んでいます。



市民の方からご連絡いただいた危険箇所を現地確認。関係各所に連携のうえ解決を図ります。



牧野阪今池公園のバリアフリー化を経過確認し、新たな課題について調査・検討を行なっています。

※各種活動の詳細や進捗はホームページ・Facebookにて随時ご報告しています

## ごあいさつ

いよいよ枚方市議会議員としての4年目を迎えました。この間、総務常任委員会では副委員長を拝命させていただくなど、市政の一翼を担う責任を常に実感しながら、皆さまからの負託にお応えすべく日々活動に励んでおります。

現在の枚方市は、人口減少、厳しい財政状況、多様化する行政課題といった非常に難しい局面にあります。市民40万人の生活

を守り抜き、素晴らしいまちとして次の世代にバトンを繋ぐため、知恵を振り絞って乗り越えなければなりません。

今後とも「声を現実に」との思いのもと、皆さまの声を市政に届けるべく全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

枚方市議会議員 かとう治



## 令和4年6月議会 一般質問のご報告

### 無電柱化について

## 効果や効率性を十分に検証し、 必要な路線への早期実現を

災害の激甚化・頻発化、高齢化などの社会情勢の変化により改めて無電柱化の必要性が高まっており、枚方市においても「枚方市無電柱化推進計画」を今年度中に策定するほか、枚方市駅前線の無電柱化も来年度の完成を目指して進められています。

無電柱化は「防災」、「安全・円滑な交通確保」、「景観形成・観光振興」の観点からも非常に重要な事業ですが、一方で整備コストの確保も大きな課題となるため、選択と集中の観点から整備効果や効率性等を十分に検証し、真に必要な路線を選定した上でスピード感を持って進めるよう要望しました。

なお、無電柱化について従前は枚方市駅周辺など一部地域でしか具体的な計画がなかったものの、私が提案した市内全域を対象とした計画の検討について、市長の市政運営方針にその方針が取り入れられました。引き続き行政と連携を重ねながら、検討の推進と早期実現に向けて取り組んでまいります。



### 小児救急コールセンターについて

## 「ひらかた健康ほっとライン24」の 周知向上で安心の子育て環境へ

健康・医療・介護・出産・育児・メンタルヘルス相談  
☎0120-513-080

いつでも 24時間365日対応  
気軽に 通話料・相談料無料  
専門相談 医師・看護師等常駐

●お問い合わせは 枚方市保健課 保健室相談 TEL 072-807-7623 FAX 072-845-0885

大阪府の小児救急電話相談「#8000」について、電話が繋がりにくいとの声が多く寄せられています。本来、緊急時のコールセンターは速やかに相談できることが求められ、繋がりにくい状況は早期改善が必要です。一方、枚方市でも同様の事業として「ひらかた健康ほっとライン24」を運営していますが、こちらは繋がりにくいといった状況は確認されていません。

市の答弁では、すでに「#8000」については大阪府に対して改善を求めているとのことでしたが、「ひらかた健康ほっとライン24」についてもさらなる周知向上を行うことで、枚方市民の救急相談において「繋がりにくい」状況を軽減させられると考えられることから、さらなる周知の徹底を図るよう要望しました。

### 府道枚方高槻線における狭隘な道路の改善について

## 将来、淀川渡河橋の開通で さらなる交通量増加も見込まれ、 全区間において早急な改善を

府道枚方高槻線は牧野駅前広場から牧野公園までの区間をバリアフリー化が必要な生活関連経路に設定されていますが、現状では歩道のない狭隘(きょうあい)な道路が存在し、雑草が道路上まではみ出して通行が阻害されている危険な状況も見られます。



また、この路線は生活関連経路に設定されていない区間にも危険な箇所が多く、加えて淀川渡河橋の開通後にはさらなる交通量の増加が見込まれるなど、全区間において早急な改善が求められます。

市の答弁によると、(本来は大阪府が行うべき)用地取得業務の一部を市が担う取り決めをしているとのこと、市の本気度も伝わってきました。いち早く対策できるよう大阪府と連携しながら進めるよう要望しました。

### 枚方市における入札制度について

## 公共事業の主旨ともいえる 経済活性化につながる入札制度へ

公共事業の目的は事業の完遂だけでなく、地域経済の活性化という側面もあります。そのため事業者選定における入札制度では、市の経済的な優位性(費用が安いこと)と合わせて、市内事業者の受注機会の確保といった点も重要です。

大規模な公共事業に適用される「総合評価一般競争入札」以外の案件は原則市内事業者のみが入札に参加できることになっていますが、裏を返せば、大規模な公共事業は「市外の大手企業しか受注できず、市内事業者は眺めているだけ」ということにもなりかねません。市の答弁では、こういった懸念に対して総合評価一般競争入札については技術力のほか地域貢献度(下請け先に市内事業者を活用するなど)についても評価するよう取り組んでいるとのことでした。

一方で入札においては談合やダンピングなども懸念され、適正な入札と契約の履行を求める声も上がっています。そういった点にも注意をしながら、まずは市内事業者が施工に参加できる仕組みを迅速に構築し、公共事業本来の主旨ともいえる地域経済の活性化につなげるよう要望しました。

### 〈その他の質疑内容〉

#### 予防のための子どもの死亡検証(CDR)体制について

大阪府でのCDR導入を見据え、切れ目のない子育て支援へ

#### コロナ禍における陽性者、濃厚接触者への支援について

第7波以降に向けた新たな対策とともに、引き続ききめ細やかな支援を

### お問い合わせ先

## 枚方市議会議員 かとう治

☎ 090-2351-5318

✉ info@kato-osamu.jp

🌐 <https://www.kato-osamu.jp>

かとう治の活動は  
こちらから  
ご確認ください



### かとう治 プロフィール

- 枚方市議会議員(現在1期目)
- 議会運営委員、市民福祉常任委員

**略歴** 昭和52年3月3日生まれ。樟葉南小、第三中、啓光学園高、京都仏眼医療専門学校、AMS柔道整復師養成学校卒。加藤鍼灸接骨院 院長。

**現在** 自由民主党枚方市支部 総務会長、自由民主党大阪府支部連合会青年局 総務会長、公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会枚方師会 顧問、公益社団法人大阪府柔道整復師会、枚方ライオンズクラブ、牧野愛する商店会 顧問